

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①地域貢献活動に積極的に参加し、その活動を評価する生徒が80%以上である。	各学科が連携した特色ある教育活動を実践するとともに、地域活性化に向けた交流活動を充実させる。また、地域から認められ、信頼される学校づくりに取り組み、特色ある地域貢献活動を積極的に情報発信することにより、生徒の自己有用感の向上を図る。 生徒が興味や実態に応じた学科選択ができ、意欲的に専門学習に取り組むことができるよう支援する。また、専門高校としての教育活動を充実させ、魅力化を図るとともに、学校行事や学年行事等を工夫し、生徒が主体的に参画できるよう計画する。					
		②自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は85%以上である。						
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	③「授業がわかりやすい」と、生徒の85%以上が答えている。	生徒や学級に応じた指導や支援の実践に向けて、職員間で情報を共有して生徒がわかりやすく、主体的に学習に取り組むための授業改善を行う。 家庭と連携し、進路実現に向けて資格取得の有用性を生徒が理解できるように、きめ細やかな指導に取り組む。また、朝学習の時間を有効に活用し、様々な資格や検定の合格を目指して指導の改善を図る。					
		④資格取得に向けた指導に、生徒の85%以上が満足している。						
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑤意欲的に学習に取り組んでいると自己評価している生徒が80%以上である。 ⑥自己の目標に応じた学力を身に付けたと自己評価している生徒が各学年70%以上である。	ICTの利活用や対話的な授業を実践し、生徒の興味や関心を喚起するとともに、生徒が自ら考え、課題を解決することができるように指導と評価を工夫する。また、授業を通して、課題解決能力とプレゼンテーション能力の向上を図り、発表する機会を設け、成果を実感できるよう取り組む。 生徒が明確な目標を設定し、達成に向けて主体的な学習や振り返りを実践できるよう働きかけを行う。また、知識や技術の習得のため、家庭学習が習慣化するよう、課題や評価を工夫する。					
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑦組織的な指導のため、生徒の情報交換を月に3回以上行っている。	職員会議や学年会で定期的に生徒に関する情報交換を行い、職員間で生徒の状況把握と情報の共有を図り、問題行動やいじめの未然防止に努める。また、きめ細やかな生徒観察を行い、生徒の変化や相談事は、必ず共有し、迅速かつ柔軟な対応を組織的に行う。 生徒が主体的に取り組むいじめ防止標語づくりや生徒目標の立案などを通して、生徒一人ひとりがいじめ防止活動に参画する意識をもてるよう指導を実践する。また、アンケートや面談を工夫し、生徒や保護者が相談や報告がしやすい環境づくりに取り組む。 生徒観察と情報共有を積極的に行い、気になることや不安を抱えている生徒や保護者には早期に専門家であるスクールカウンセラーの利用を促す。また、教職員、家庭、教育相談係、関係機関などと連携を取りながら、生徒が安心安全な学校生活を送ることができるよう、雰囲気づくりや原因究明に努め、フィードバックやフォローを実践する。 授業や講演会を通して、健康について意識を高め、規則正しい生活習慣や安全なスマートフォン等の利活用が身に付けられるよう関係機関などと連携した指導に取り組む。					
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑧いじめをしない許さない態度を身に付け、いじめ防止活動に主体的に取り組む生徒が90%以上である。						
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑨心身に悩みや不安を抱えている生徒が、スクールカウンセラーの利用により悩みや不安が改善された、軽減されたと評価する生徒が80%以上である。 ⑩毎日朝食を摂ることや睡眠時間の確保など、健康に留意した生活を送るよう意識している生徒が80%以上である。						
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑪進路に関する行事が進路選択に役立っていると評価する生徒が85%以上である。	進路ガイダンス、進路講演会、企業見学、インターンシップなどを通して、生徒が希望する進路実現に向けて必要な情報収集や体験の場を提供し、生徒及び保護者が満足するよう指導を充実させる。 適性検査や基礎力診断テストなどにより、生徒が自己の強みや興味、適性を把握し、自己に合った進路選択をすることができるよう、検査結果や評価を的確にフィードバックし、生徒が自己分析・自己理解を深めるための指導を実践する。 社会人として必要な挨拶やコミュニケーション能力を習得させ、地域から信頼される人材育成に取り組む。また、職業探究活動、企業見学、インターンシップ、進学・就職対策講座などに積極的に参加し、生徒の進路選択についての知識やスキルを深められるよう指導する。					
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑫自己の適性を理解し将来の職業との関連について考えている生徒が80%以上である。 ⑬挨拶やコミュニケーション等を進んで行い、進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が85%以上である。						
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑭PTA活動や学校行事等に1回以上参加している保護者が80%以上である。	連絡メールやホームページを工夫し、家庭や地域へ向けて本校の特色ある教育活動を情報発信するとともに、授業参観やPTA行事、販売会などを再検討し、保護者が参加しやすい行事となるよう内容や日程を改善する。 保護者が、学校や生徒の活動をより理解しやすいように、ホームページの内容やレイアウトを充実させるとともに、TOPICSやお知らせを速やかに更新する。また、連絡メールを有効に活用し、適切に情報提供できるよう工夫する。					
		⑮授業公開、学校からのメールや配布物、ホームページの閲覧等を通じて、保護者の80%以上が学校の様子を理解できている。						
VI 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑯ICTを活用した授業に、生徒の80%以上が満足している。	職員研修会や相互の授業観察を充実させ、ICTの活用により、効果的な知識や技術の習得が実感できるような指導と評価を実践する。授業アンケートでICTを活用した授業の効果を項目として設定し、教職員の活用と効果について随時点検と評価を行う。 連絡メールやホームページを活用した配布物やアンケート調査の業務改善を継続するとともに、より効果的なICTの活用に向けて保護者から情報収集を行う。					
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑰ICTを活用した通知に保護者の80%以上が満足している。						